

# アカエゾマツの森



阿寒摩周国立公園

## 一斉に芽吹いたアカエゾマツ

川湯のアカエゾマツの森は摩周岳と硫黄山の噴出によって放出された軽石や火山灰が降り積もった大地に一斉林として生育しています。その芽吹きは200年程前といわれており、長い年月をかけて純林をつくってきました。

土壌生成の途中段階にある未熟土になっていて、礫が多く、酸性の傾向があります。地面がやわらかく肥よくな土のように感じられますが、これはアカエゾマツの葉が堆積したものです。

そのため、植物の生育にとっては極めて厳しい環境ですが、アカエゾマツはこの場所を選びました。しかし、この森のアカエゾマツは同じ年月を経たアカエゾマツと比べて幹が細く、木の高さが低いのが特徴です。これは土壌や周辺環境が大きく影響していると考えられます。

## アカエゾマツ ■マツ科

常緑樹で高さは30～40m、太さ1～1.5mになる。本道の東部や北部の山中に多く、湿地、砂丘、火山灰地にも生える。トドマツやエゾマツと混生するが、ときに純林をつくる。

**葉**：線形で長さ0.5～1.2cm、横断面は四角形  
**花**：雄花は長さ1.5cm、帯紅色で黄色の花粉を出す。雌花は紫紅色で長さ3cm、5～6月開花  
**球果**：長さ5～8cmの円錐形で下垂、9月に熟成し、暗紫色になるが、まれに緑色または黄緑色になるものがあり、アオノミアカエゾマツという。

**樹皮**：黒赤褐色で不規則な鱗片状にはがれる  
**分布**：北海道、本州（早池峰山）、南千島、サハリン南部

**用途**：建築材、楽器材（特にピアノの響板）、器具材、公園・庭園樹など

(出典 佐藤孝夫著(2011)「増補新版 北海道樹木図鑑」亜細亜社)

## ゴゼンタチバナコース

アカエゾマツの森には「ゴゼンタチバナコース」と「アカゲラコース」の2つの散策路が整備されています。

ゴゼンタチバナコースは一周約0.8km、25分程度の手軽な散策路です。

花の種類は少ないですが、一番おすすめの時期はゴゼンタチバナが咲く6月ごろ。山などでよく見られる植物ですが、標高150m前後のこの森で見られるのは、特殊な土壌が関係しているからです。可憐で白い花が散策路の両脇を埋め尽くすように咲く様子は必見です！



ゴゼンタチバナ

## アカゲラコース

アカゲラコースは一周約2.2km、1時間程度の周回コースで、じっくりと森を楽しむことができます。

ゴゼンタチバナコースと同じく針葉樹林の中を歩きますが、途中、ハクサンシャクナゲがあり、7月頃になると薄ピンクの可愛らしい花が目を引きまします。

また、途中から硫黄山へ続く「つつじヶ原自然探勝路」へと合流します。針葉樹林とは違った植生の変化を楽しむことができるので、時間がある方は硫黄山まで歩くのもオススメです。



ハクサンシャクナゲ

## 春



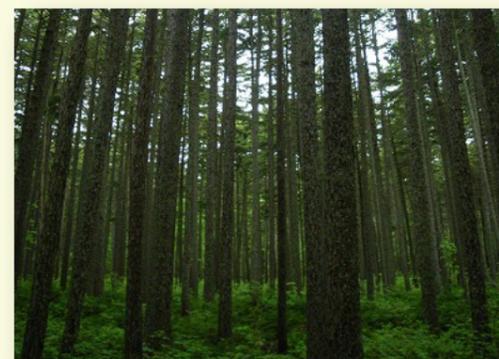
雪が残るアカエゾマツの森では、春になると野鳥たちのドラミングやさえずりが響き渡ります。

また、アカエゾマツの間を縫うように生えている広葉樹たちの芽吹きが始まるのとほぼ同時期に、コミヤマカタバミやコヨウラクツツジなどの小さな花々がひっそりと咲き始めます。

## 夏

背の高いアカエゾマツに囲まれた森は、暑い夏でも他の場所に比べると涼しく、森林浴にはうってつけです。

散策路沿いに咲くゴゼンタチバナやハクサンシャクナゲなどの花々を楽しみながら、ときおり青々と茂ったミヤコササやヤマドリゼンマイにも注目してみてください。運が良ければ夏のセミ・コエゾゼミに出会えるかもしれません。



## 秋



緑一色のアカエゾマツの森が一番色とりどりになる秋。シラカンバやカエデ類などの鮮やかな紅葉が目を引きまします。その中でも特徴的なのがコシアブラという広葉樹。白く透き通ったように黄葉する様子はとても美しいです。

また、林床を覆うヤマドリゼンマイの黄葉も日の光に当たるとより綺麗なオレンジ色に輝き、針葉樹の森が鮮やかに染まります。

## 冬

アカエゾマツに雪が降り積もる様子は、まるで天然のクリスマスツリー。カナダや北欧を思わせる風景に出会えます。

そんな冬の森を楽しむには、スノーシューは欠かせません。川湯ビジターセンターでレンタルをして、ふかふかの雪の感触を味わってみてください。

エゾシカやキタキツネの足跡や食痕を観察できるのも冬ならではの楽しみ。



### 川湯ビジターセンター



#### 開館時間

4月～10月 8:00～17:00  
11月～3月 9:00～16:00

#### 休館日

毎週水曜日(7月第3週～8月31日は無休、水曜祝日の際は翌日)  
年末年始(12月29日～1月3日)  
入館料 無料

088-3465

北海道川上郡弟子屈町川湯温泉2-2-6

TEL 015-483-4100

FAX 015-483-4111

URL <https://www.kawayu-eco-museum.com/>

製作 環境省